



2018年6月21日

会社名 株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング  
 代表者氏名 代表取締役 社長執行役員 嶋 賢一郎  
 (コード番号：7774 JQ)  
 本店所在地 愛知県蒲郡市三谷北通6丁目209番地の1  
 問合せ先 取締役 執行役員 山岡 寿一  
 電話番号 0533-66-2020 (代表)

## 名古屋大学・信州大学との、CD19 陽性 急性リンパ性白血病の自家細胞由来治療薬 開発に関する CAR-T 細胞の製造技術の特許ライセンス契約締結に関するお知らせ

当社は本日開催の臨時取締役会において、以下のとおり、名古屋大学（以下、名大）・信州大学（以下、信州大）と、CD19 陽性の急性リンパ性白血病（Acute Lymphoblastic Leukemia, ALL）を対象とした自家 CAR-T 細胞を用いた治療薬の開発、製造、販売における特許ライセンス契約を締結することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 目的

当社は、CD19 陽性 ALL を対象とした自家細胞由来の「遺伝子改変 T 細胞（CAR-T 細胞）」について、名大・信州大が有する CAR-T 細胞の製造技術に関する特許の日本国内における独占的実施許諾契約を、両大学と締結します。当社が持つ再生医療等製品に関する実績やノウハウと、名大・信州大の画期的な技術を組み合わせ、治療効果の高い免疫細胞療法である CAR-T 療法の早期実用化を目指します。

CAR-T 療法とは、がんに対する攻撃性を高めた CAR-T 細胞を用いて治療する免疫細胞療法です。血液から採取した T 細胞に CAR 遺伝子を導入して CAR-T 細胞を作製し、治療薬として使用するもので、新たながん治療法として注目されています。名大・信州大が共同開発した CAR-T 細胞の製造技術は、CAR 遺伝子を導入する際に従来の高額なウイルスベクターではなく、天然由来の酵素を用いた安価なベクターを使用します。また、安全性確保のためのウイルス封じ込め施設や設備、ベクター由来のウイルスチェックなどの品質検査が不要で、製造コストの低減が期待出来ます。

また名大は2018年2月より、難治性・再発性の CD19 陽性 ALL を対象とする臨床研究を開始しています。国内有数の小児がん治療拠点であり、同じ愛知県を拠点とする名大と当社が連携することで、本治療法の実用化の加速を目指します。

### 2. 概要

#### (1) 契約の内容

##### ① 対象特許：

特許出願番号	PCT/JP2016/079989（出願中）
名称	キメラ抗原受容体を発現する遺伝子改変 T 細胞の調製方法
出願人	名古屋大学・信州大学
発明者	名大：西尾信博、高橋義行 信州大：中沢洋三、田中美幸、盛田大介

② 許諾製品：CD19 陽性の急性リンパ性白血病を対象とする自家 CD19CAR-T 細胞製剤及びそれに係るサービス

③ 許諾内容：許諾製品の開発、使用、製造、販売に対する対象特許及びそれに係る情報の独占的実施権

④ 許諾地域：日本

(2) 契約締結のために特別に支出する金額および内容

契約締結により、契約一時金、開発の進捗に応じたマイルストーン、販売に応じたロイヤリティ等を名大・信州大に支払います。具体的な金額等に関しては、相手先との契約における秘密保持義務があるため、非開示とさせていただきます。

(3) 契約先の概要

名 称	国立大学法人名古屋大学	国立大学法人信州大学
所在地	愛知県名古屋市千種区不老町1番	長野県松本市旭三丁目1番1号
代表者	松尾 清一	濱田 州博

(4) 契約締結の日程

2018年6月21日 取締役会決議日  
2018年6月22日 契約締結日

3. 今後の見通し

本件が当社の2019年3月期通期業績に与える影響につきましては、本契約締結に伴い、契約一時金の支払等が見込まれるため、利益が減少します。これに伴い、当社は、本日2018年6月21日付で業績予想の修正を行っています。

(参考) 当期業績予想および前期実績 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2019年3月期 予想	3,080	△49	△42	△53
2018年3月期 実績	2,271	211	213	227

以上